

私の主張 ひとりの日本人として【相互リンク】 掲示板より転載

14921 . 軍人恩給

名前 : ピカドン 日付 : 5月9日(水) 14時43分

ご紹介のあったサイトを拝見しました。

私の父は大正14年生まれで、既に他界(約40年前)しており改めて母にその他の恩給も含めて色々尋ねてみました。

先ずは父の事ですが、これは母から聞いている話ですが、父が亡くなる前に話をし書き残したものだそうです。その他私が未だ見ていない諸々資料があるようですので近いうちに見せて貰う事にしました。

当時の中学(高等中学と言うんでしょうか)現在の高校に当たるの時、志願して入隊、海軍兵学校岩国分校に入ったそうです。終戦まで数年と言うところでしょうか。

その後、海上勤務を命ぜられ、駆逐艦やその他の艦船勤務、最後は潜水艦イ号に乗艦。

昭和20年に終戦を迎えましたから、最短恩給年限には達していません。

従いまして、恩給は一切出ておりません。一時金として僅かばかりの金額ですがお国より出たという事を聞きました。

(一回のみです)

また父の兄(私の叔父)はマラッカ海峡で輸送船に勤務している時、敵潜水艦の魚雷攻撃により撃沈。勿論遺骨も無かったそうですが、年に1回多額では有りませんが恩給が出ていると聞いています。何年兵役があったのかは聞いていませんが、解れば調べてみたいと思います。確かに当時のお金で考えたとしても、これが命の代償かと思えるような僅かである事は確か。

10年間出ると言う事だったと聞きましたが10年単位で更新しているそうですが、これは直系しか受け取る事が出来ないため、私の父は他界してますし、一番下の叔父(陸自二佐で退官)がいま現在も受け取っているとの事です。

また私の父方の祖父は当時広島県の鞆町に住んでいました。疎開のための家を取り壊す仕事をしていましたが、原爆により、その数日後亡くなったと聞いています。

これにも僅かですが恩給が出ているとの事です、直系のみの受け取りという事でやはり叔父が受け取っているという事です。叔父は例え僅かであっても自分だけが受け取る訳にはいかないという事で、約半分を私の母に渡しているという事でした。

余談ですが、恩給にも可成りの種類と出方があると聞いています。勿論そのときの階級などによっても違うという事でしょう。命に差が有るのだろうか？

改めて思った事ですが、志願と徴兵では随分思いも違うでしょうが、何れにせよ国家のために命を無くされた方、また命は持ち帰ったが、国家の為に命を張って戦われた事は事実であり、補償が多いか少ないかはその人毎、家族毎に思いは違うと思いますが、何らかの補償が有って当然という事で有る筈です。

小さな子供を残さして亡くなった方もいらっしゃるでしょうし、子供全てを戦争で亡くされた親もいるでしょう。残された方の生活を考えた場合これを補うのは国家の責務であると考えるのは普通の事ではないでしょうか。

今現在の自衛官の方々と比べるとは適切でないと思いますが、補償というものに対してズレが大きい様に思います。時代が違うとは言うものの兵役12年以下は一切無しと言うだけで済ますには余りにも人情に欠ける様に思う。